



核データ部会・「シグマ」特別専門委員会合同企画セッション 「核データ評価における品質保証と JENDL の利用状況」

日本原子力学会「2009 年秋の大会」J 会場（東北大学、2009 年 9 月 17 日）

(1) 企画セッションの趣旨

原子燃料工業株式会社

伊藤 卓也

t-itoh@nfi.co.jp

平成 21 年の日本原子力学会秋の大会が東北大学で開催された。核データ部会、シグマ特別専門委員会の合同企画セッションでは、テーマを「核データ評価における品質保証と JENDL の利用状況」とし、核データ評価活動における品質保証の考え方、及びこれまでの JENDL の利用状況のレビューを行い、核データの評価活動及び利用の活性化にむけた議論を行うこととなった。この時期に、「品質保証」が核データ部会、シグマ特別専門委員会の合同企画セッションのテーマとして選定され、JENDL の利用の活性化に向けた議論をしたことは有意義であったと考える。

核データ評価における品質保証については、シグマ委員会で以下の議論がこれまでもなされている。

平成 19 年 12 月から平成 20 年 6 月にかけてシグマ委員会に組織された核データ活性化ワーキンググループ（主査：JAEA 千葉氏）において JENDL の利用促進について議論[1]がなされた。この議論において、JENDL-4 が多くのユーザーに広く使用されるようになるためには、「品質保証」がしっかりしていることが重要と認識された。

また、シグマ委員会では平成 18 年に品質保証検討グループ（主査：東工大・山野氏）を立ち上げ、核データ評価における品質保証のあり方を検討した。平成 21 年 3 月にその検討が終了し、同グループより品質保証のあり方についての提言が行われた[2]。

これらの活動により、核データ評価における品質保証の重要性が広く認識され、かつ、JENDL の評価活動における品質保証の適用の枠組みの提案がなされ、これらの活動は一定の成果を挙げたと思われる。しかしながら、核データ評価活動の枠組の中で、品質保証（もしくは品質マネジメント）の適用に向けた具体的なアクションが起きたかという点、その点については、道半ばという印象があった。

核データ評価活動は、シグマ委員会という中核となる組織により、全体の活動が統率されているものの、日々の評価作業は、JAEA の複数の部署の研究者、大学の研究者、民間企業の社員など、異なる組織に属する研究者が、自発的かつ研究的な活動を積み重ねることによって行われている。これが、ISO-9001 の要求事項であるトップマネジメントを頂点とした品質マネジメントを直接適用するのが難しい理由の一つになっているのではないかと推定した。

以上を踏まえ、本企画セッションにおいて、品質保証の専門家から他の分野での品質保証の適用例などをお話いただくことにした。核データ評価での品質保証の適用について考えを深めることは、今後の JENDL 利用拡大の議論とも結びつくものと期待できる。

本企画セッションは、次の 3 つのサブセッションにより構成されている。

- ① 核データ評価に対する品質保証の適用について
- ② JENDL の品質保証のあり方（シグマ委員会品質保証検討グループからの提言）
- ③ 国内許認可における JENDL の利用状況について

①の「核データ評価に対する品質保証の適用について」では、(財) 日本科学技術連盟の仲川久史氏に講演を依頼した。品質保証の専門家の視点から、核データ評価活動に対する品質マネジメントシステムの適用における留意事項や、他分野における品質保証の適用例などをお話いただくことにより、JENDL への品質保証の適用について議論を深めることを期待した。

②の「JENDL の品質保証のあり方（シグマ委員会品質保証検討グループからの提言）」では、品質保証検討グループ主査の山野氏（東工大）から、同グループでの検討内容及び提言について講演いただき、具体的な核データ評価活動における品質保証の適用のアクションについての議論を深めることを目的とした。

③の「国内許認可における JENDL の利用状況について」では、JNES の中田氏と京大炉の中島氏に実際の原子力施設の許認可における JENDL の利用実態についての調査結果を報告していただき、今後の JENDL 利用拡大に向けた戦略の議論を導き出すことを意図した。

日本の核データの評価活動は非常に活発であり、レベルが高い。ENDF、JEFF に対しても多くの重要な貢献が日本からなされている。これまで、日本の核データの評価活動は、「JENDL」を旗印に進められてきた。JENDL-4 の完成により、JENDL の利用が国際的に拡大し、今後の日本の核データ界がますます活性化することを願う。

Reference

1. 千葉 敏,「わが国の核データ活動を展望する(3)核データ活性化WG活動報告」,核データニュース, No.90, p.33-39 (2008).
2. シグマ委員会品質保証検討グループ,「JENDL の品質保証のあり方(提言)」,平成 21 年 3 月 16 日.